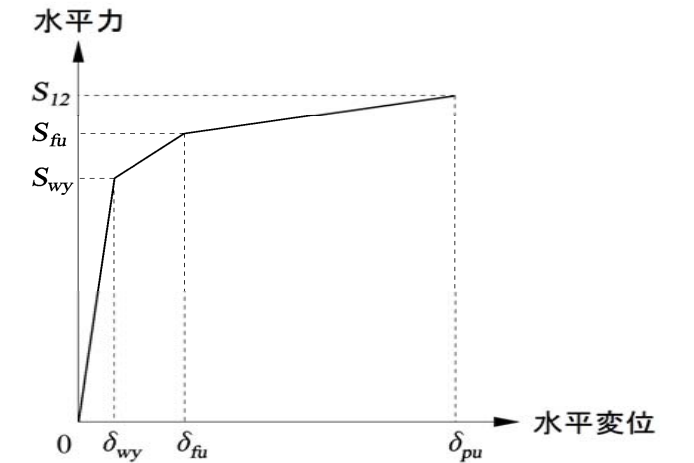
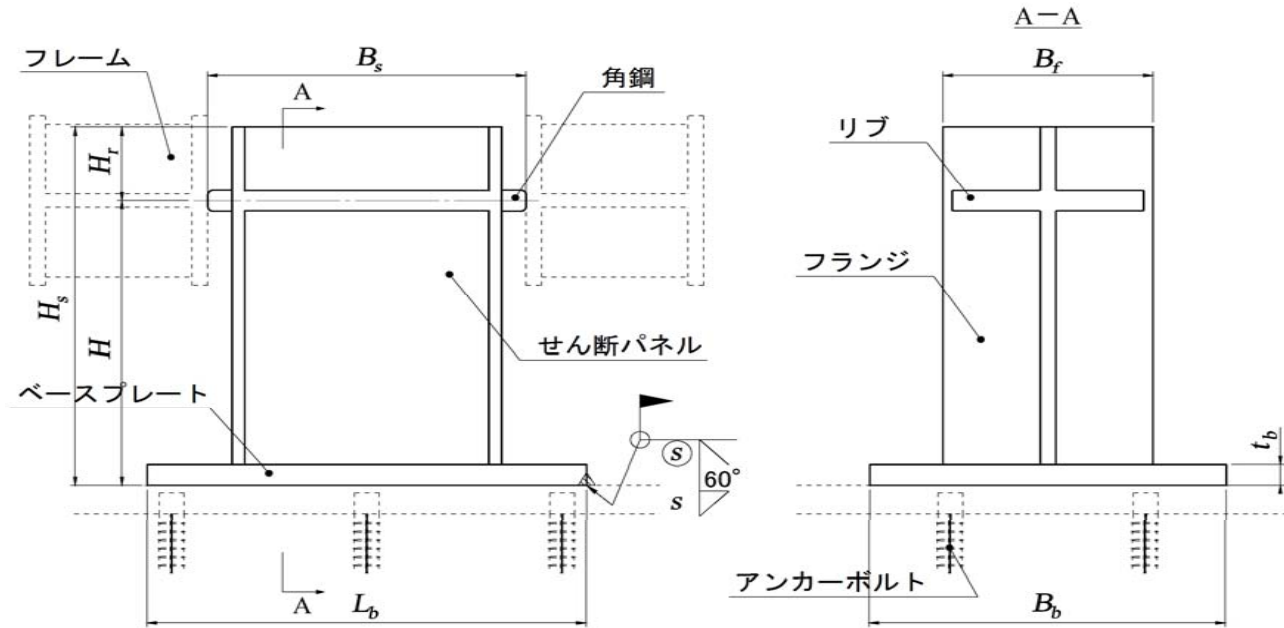


# 制震ストッパーの標準寸法および設計曲線一覧

2013.10.29 Ver.3.1  
制震ストッパーの設計曲線

1. 本表はベースプレートを現場溶接する方式としたが、アンカーボルト方式(ベースプレートに直接アンカーボルトを取り付ける方式)も可能である。
2. 桁下空間の制限などから、本表以外のサイズを適用される場合は別途お問い合わせ下さい。
3. 既設橋梁の耐震補強などで、橋脚の耐力が小さく、発注機関と協議の上、 $Q_d / (\text{制震ストッパーの個数}) > S_{L1}$  の条件で使用する場合は別途お問い合わせ下さい。
4. 標準品以外の納期については、お問い合わせ下さい。

制震ストッパーの寸法記号



設計反力		$P_d$ (kN)	200	400	600	800	1000	1200	1400	1600
寸法	呼称		200-H200	400-H300	600-H350	800-H400	1000-H450	1200-H450	1400-H500	1600-H500
	ストッパー全幅	$B_s$ (mm)	304	418	468	524	580	630	690	750
	荷重作用高さ	$H$ (mm)	314.5	442.5	502.5	564	626	685	750	810
	ストッパーかかり長	$H_r$ (mm)	62.5	62.5	62.5	89	91	120	125	125
	ストッパー全高	$H_s$ (mm)	377	505	565	653	717	770	810	820
	フランジ幅	$B_f$ (mm)	200	280	320	350	400	430	430	430
	ベースプレート長さ	$L_b$ (mm)	324	438	488	544	600	656	710	770
	ベースプレート幅	$B_b$ (mm)	300	380	420	450	500	530	530	530
	ベースプレート厚	$t_b$ (mm)	32	50	50	60	60	70	70	70
溶接サイズ	$s$ (mm)	6	7	9	10	12	14	16	17	
耐力・変位	L1地震時耐力 ( $S_{wy} \times 1.5/1.7$ )	$S_{L1}$ (kN)	206.3	481.4	641.9	825.3	1083.2	1237.9	1432.8	1650.5
	せん断パネルせん断降伏耐力	$S_{wy}$ (kN)	233.8	545.6	727.5	935.3	1227.6	1403.0	1623.8	1870.6
	フランジ全塑性耐力	$S_{fu}$ (kN)	303.1	705.0	907.8	1165.7	1528.7	1999.3	2522.4	3210.5
	制震ストッパー限界耐力	$S_{12}$ (kN)	448.8	1047.4	1354.3	1740.9	2284.8	3000.8	3929.7	5033.5
	せん断パネルせん断降伏変位	$\delta_{wy}$ (mm)	0.338	0.507	0.591	0.675	0.760	0.844	0.844	0.760
	フランジ全塑性変位	$\delta_{fu}$ (mm)	2.958	4.204	5.722	7.455	9.789	12.655	16.455	21.249
	制震ストッパー限界変位	$\delta_{pu}$ (mm)	24	36	42	48	54	60	60	60
重量	$W_s$ (kg)	54	139	192	257	365	479	627	821	1064

※ せん断パネルの材質はLY225, ベースプレートの材質はSM490YBもしくはSM520Cとする。

※ 桁下空間および桁遊間に余裕がある場合は、エネルギー吸収性能からパネルサイズの大きいモデル(Hタイプ)を採用することが望ましい。